

# 本会議の代表質問から

9月29日・30日の本会議では次の16人の議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって市長や関係理事者に質問を行いました。今号では、その主なものをお伝えします。

自民党 自由民主党京都市議員団、共産党 日本共産党京都市議員団、公明党 公明党京都市議員団、民進党 民進党京都市議員団、日本維新の会 日本維新の会・無所属京都市議員団、京都党 地域政党京都市議員団



## 自民党



富 きくお 議員 (山科区)

### 「子ども若者はぐくみ局」(仮称)の設置

**Q** 局の設置の基本理念となる「はぐくみ文化」に込める市長の思いは。また、区役所・支所の窓口再編について、ハード面の整備や、保健、医療、福祉を連携させる職員の配置や育成にどう取り組むのか。更に、京都市外の方への取組も必要では。

**A** 「子どもを地域や社会の宝として大切に育む生活文化」を「はぐくみ文化」として創造、発信する。区・支所に分野別の窓口を設置し、子ども・若者施策を融合して推進できる職員配置に努め、ワンストップサービスを提供できる職員を育成する。10月新設の「はぐくみコール」で市外の方へも子育て情報を発信する。

### 安祥寺川・四宮川の整備

**Q** 安祥寺川の改修に関して、今後のスケジュールと改修の工法について伺う。また、府が行う四宮川改修についてもスケジュールを把握し、早期に工事が完了するよう、府に引き続き強力に働き掛け、本市が協力できること

は、十分に配慮してほしい。

**A** 安祥寺川の改修は、今回に限り府に代わり市が行う。安祥寺川は現在の河川の地下に水路トンネルを整備し、四宮川では河床を掘り下げる。いずれも改修に相当の年数を要するため、完了までの応急的な対策は、府において確実に実施するよう強く求めている。今後も府としっかりと連携し、早期の事業完成を目指す。



繁 隆夫 議員 (伏見区)

### 都市鉱山の活用

**Q** 現在、都市鉱山の大部分は処分されている。東京五輪のメダルへの都市鉱山活用が検討されているが、これに先駆け、都市鉱山を市民の皆様が身近に実感しやすいスポーツの分野で活用し、リサイクルの行方を見える化した分別促進モデルを京都から発信すべき。

**A** 今後、ごみの量をピーク時の半分以下にし、持続可能な循環型社会を構築するためには、リサイクルの一層の推進とその見える化が必要である。そこで、都市鉱山から回収した金を100%使った京都マラソンの優勝メダルを作成する全国初の取組を、2018年大会に向け実現する。



西村 義直 議員 (西京区)

### 手話言語条例制定後の取組

**Q** 手話への理解の促進及び普及のために、市民が手話に興味を持てる取組等を実施してはどうか。また、行政窓口や事業者が手話による適切な情報提供を行うための研修や、学校における理解の促進が重要だ。手話の推進方針の策定に際しては、当事者や関係者から幅広く意見を聴くべき。

**A** 当事者の方等との懇話会での意見をしっかりと受け止め、推進方針を策定する。また、本市主催のイベントでの手話体験や、職員向け手話研修の充実、観光旅行者への対応も含めた事業者等向けの研修を実施する。更に、生徒の手話体験・交流学习や、保護者や教員への啓発・研修も行う。



手話言語条例制定記念キックオフイベントの様子



加藤 昌洋 議員 (中京区)

### 自転車保険の義務化

**Q** 自転車同士の事故が増加傾向にある中、自転車保険の加入義務化の検討が必要であるが、義務化だけでは実際の加入増加にはつながらないとも聞く。関係団体との協力も含め、本市の実情に沿った画期的で実効性のある制度が必要ではないか。

**A** 現在、自転車政策審議会において、レンタサイクル事業者も含めた条例による自転車保険加入の義務付け、会社や学校による通勤・通学者の保険加入の確認、大学生等の転入時の不動産関連会社による保険の情報提供について議論している。今後、審議会や市民等の意見を伺い、保険加入義務化の方向性を取りまとめる。

## 共産党



北山 ただお 議員 (山科区)

### 憲法及び平和安全法制への認識

**Q** 安倍首相は憲法改定を打ち出しているが、「緊急事態条項」は政令による自治体の長への指示と基本的な人権の制限を可能とする内容である。憲法の基本理念を変え、自治体の権限を奪うような改憲には反対し、戦争に協力しない姿勢をしっかりと示すべき。

**A** 憲法の在り方は、平和の理念、原則を大切にしつつ、緊急事態への対処を含め、国民全体で議論が深められるべきだ。平和安全法制は、国際社会の平和と安定への貢献等について、国会で議論し結論を出されたものである。本市として、世界文化自由都市宣言の下、引き続き平和の実現に向けて不断の努力を続けていく。

**Q** 焼却灰溶融施設訴訟の地裁判決において、損害賠償等を求めた本市の訴えは全て棄却されたが、今後市民に負担をかけるい決意を示すべき。また、埋立処分地の最大の延命策はごみ減量化であり、分別の推進や企業へのごみ排出規制の徹底が必要ではないか。有料指定袋の値下げも求める。

**A** 訴訟については、現在控訴審での全面勝訴に向け全力で取り組んでいる。埋立処分地の延命策は、廃棄物減量等推進審議会の答申も踏まえ、効果的な対策を検討、実施する。有料指定袋は、価格を据え置いてもごみ量が増加に転じている自治体が多い中、引下げは考えていない。

### 焼却灰溶融施設とごみの減量

**Q** 焼却灰溶融施設訴訟の地裁判決において、損害賠償等を求めた本市の訴えは全て棄却されたが、今後市民に負担をかけるい決意を示すべき。また、埋立処分地の最大の延命策はごみ減量化であり、分別の推進や企業へのごみ排出規制の徹底が必要ではないか。有料指定袋の値下げも求める。

**A** 訴訟については、現在控訴審での全面勝訴に向け全力で取り組んでいる。埋立処分地の延命策は、廃棄物減量等推進審議会の答申も踏まえ、効果的な対策を検討、実施する。有料指定袋は、価格を据え置いてもごみ量が増加に転じている自治体が多い中、引下げは考えていない。

### 中小企業振興基本条例の制定



山田 こうじ 議員 (右京区)

**Q** 中小企業は、倒産や休業業に追い込まれ、企業景気指数も低下するなど、厳しい現状にある。成長企業の支援も大切だが、困難を抱える中小企業への支援こそ求められる。他都市の事例に学び、中小企業振興基本条例の制定を急ぐべき。

**A** 本年8月に、中堅・若手の中小企業経営者を中心に、経営課題を業種横断的に議論し、実効性ある振興策を検討・推進していく場として「京都市中小企業未来力会議」を創設した。現在、「現場の声」を反映できるように、精力的に議論・検討を進めており、必要な場合には、条例による手法等も検討していく。

### 介護予防・日常生活支援総合事業



玉本 なるみ 議員 (北区)

**Q** 基準緩和型サービスの導入による国の報酬の引下げ提案は撤回すべき。また、介護認定を受けなくても、基本チェックリストで簡易に判定できるシステムが導入されるが、これでは本人の実態や必要な支援の状況は把握で





# 公明党



大道 義知  
議員 (南区)

## レジリエント・シティ戦略の策定等によるまちづくり

**Q** ロックフェラー財団が公募するレジリエント・シティに京都市が選ばれたことを機に、京都の特性を活かした「レジリエント・シティ戦略」を早期に策定し、体制整備を図るべき。また、市民協働による災害に強いまちづくりを進めるための憲章や条例の制定を検討すべき。



吉田 孝雄  
議員 (伏見区)

## 自転車政策

**Q** 本市の自転車政策は大きく前進したが、シェアサイクルの導入には課題が多いため、シェアサイクルの今後の方向性を含め、走行環境整備の前進、啓発活動の充実など、本市の自転車政策の充実強化への方向性と施策展開についての考えを伺う。

**A** 現在、「京都・新自転車計画」に基づき、走行環境整備のためのガイドラインの策定や、学校での自転車教室、大学生への啓発等、様々な取組を進めている。また、シェアサイクルありきではなく、レンタサイクル事業者の実態調査を踏まえ、本市の特性を活かした安全・快適なレンタサイクルの実現を目指す。



「京都・新自転車計画」の表紙



かわしま 優子  
議員 (伏見区)

## 書道文化の振興

**Q** 文化庁の京都への移転に向け、和の文化をより一層深めるため、これまで以上に「書」の振興に力を入れてほしい。美術館の再整備にあたって、「書」について専門的に展示し、所蔵、研究、教育、普及、交流活動を行う書道芸術の発信拠点となるような場所を検討してはどうか。

**A** 美術館再整備に伴う取組として、今後、企画展やコレクション展の中で「書」をテーマとした展示等を検討していく。また、学校や家庭等での書初めや書道団体の展覧会、書道家によるパフォーマンス等、様々な機会を通じて「書」の文化が一層身近な存在となるよう市民と共に取り組む。

# 民進党



中野 洋一  
議員 (東山区)

## 民泊対策

**Q** 住居専用地域での民泊は厳しく制限すべき。また、町屋や長屋を守り活用することは理解するが、大通りに面したものに限り許可すべきでは。さらに、旅館業法・消防法等を確実に守ってもらうため、違反者に莫大な罰金を課してはどうか。民泊運営のルール作りの理念と方向性を伺う。

**A** 今後、「宿泊施設拡充・誘致方針」へのパブリックコメントの結果も踏まえ、新たなルールを定めた指導要綱を策定する。また国に対し、地域の実状に応じた運用や、法令遵守等の対策強化を要望しており、民泊新法の審議状況も踏まえ、住居専用地域など個々の取扱いについて検討する。



山本 ひろふみ  
議員 (伏見区)

## ポケモンGOなどの位置情報ゲームの活用

**Q** 「位置情報ゲームの活用を目的としたプロジェクトチーム会議」が局横断で結成されたが、現在の検討状況はどうか。位置情報ゲームやアプリを積極的かつ安全に活用し、観光の時期や観光エリアの分散化、地域や文化財の歴史・文化の発信などに努めるべきと考えるが、今後の取組は。

**A** 現在、関係部局において、観光の振興や分散化、地域の活性化、文化の振興、歩くまち、健康長寿など様々な観点から、安全にも配慮しつつ、具体的な活用アイデアを検討するとともに、全職員に対してもアイデアを募集している。今後、活用案を集約し、開発会社との協議を進めていく。



「位置情報ゲームの活用を目的としたプロジェクトチーム会議」の様子

# 日本維新の会



こうち 大輔  
議員 (右京区)

## 特別職報酬等審議会

**Q** 平成13年7月以降、審議会が開催されておらず、現川市政においては、一度も委員が選任されていない。現状では特別職の報酬が審議会の意見や議論がないままに決められており、市民に対し議論の中身も踏まえてオープンにし、決めるべきではないか。

**A** 市長の給料等は、平成13年1月からは20%のカットを行っている。また、カット後の市長の給料等の額は他都市等と比較しても低く、カット率は一般職員を大幅に上回る。このため、現時点では直

ちに委員を選任し、審議会の意見を聴く状況にはなく、今後の開催は必要に応じて検討する。  
**同会派のその他の質問議員**



菅谷 浩平  
議員 (北区)

# 京都党



村山 祥栄  
議員 (左京区)

## 市営住宅の管理

**Q** 新築後未入居の物件は早急に公募等を行い、退去後に整備されず募集停止となっている物件は、整備費用を見直し速やかに公募すべき。また、収入超過世帯への積極的な指導や法令整備も含めた改善と、共有部分の占有やペットの飼育等の不適正な利用者に対するの管理や指導も行うべき。

**A** 新築未入居住戸の多くは、移転交渉に確保している。退去後の整備・公募は、国の補助金も活用し、費用対効果の高い取組を行う。収入超過世帯には、家賃の引上げにより明渡しを促し、高額所得世帯には訴訟も視野に入れた指導を行っている。不適正な使用にも粘り強く指導していく。

## 同会派のその他の質問議員



大津 裕太  
議員 (中京区)

## 用語解説

**※都市鉱山**  
家庭から排出される携帯電話等、小型家電製品に含まれるレアメタル等の再利用できる金属を、都市において採掘可能な資源と見立て、「都市鉱山」と呼ぶ。

**※手話言語条例**  
本年4月に施行した「京都市手話言語がたがく心豊かな共生社会を目指す条例」

**※介護予防・日常生活支援総合事業**  
地域の住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることで、要支援者等に効果的かつ効率的な支援等を行うため創設された事業。本市では平成29年4月開始。

**※基準緩和型サービス**  
右記事業について、現行の「介護予防訪問介護」「介護予防通所介護」相当サービスに加え、事業者の指定基準を緩和した新たなサービスが設けられる。

**※レジリエント・シティ**  
災害や混乱等に耐え、可能な限り早急に復旧し、より強靱になることを目指す都市

**※シェアサイクル**  
自転車の貸出拠点を街中に複数設置することにより、利用者がどこでも借りたり返したりできる制度

**※「宿泊施設拡充・誘致方針」**  
本市の宿泊施設の拡充及び誘致並びに「民泊」に関する総合的な考え方や施策の方向性をまとめたもの

**※特別職報酬等審議会**  
特別職(議員・市長・副市長)の給料等の額について意見を聞くための、学識経験者等の委員で構成する第三者機関